

《学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の活動について》

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 NO.24 令和5年1月16日 文責 渡邊

防犯避難訓練を実施しました！

令和5年1月13日(金)に、防犯避難訓練を全校児童と職員を対象に、三島警察署員と函南町役場担当課職員の指導のもと実施しました。

ねらいを

- ①学校生活に潜む危険を予測し、それを回避し安全な行動をとる。
- ②不審者が校内に侵入したことを想定し、どのような行動をとるべきかを確認する。
- ③訓練後、防犯体制の課題を明らかにし、改善につなげる。

と設定し、全員が真剣に訓練に参加することができました。

不審者役は役場職員が担当し、2時間目に3年生の教室に侵入してくるところから訓練はスタートしました。まず3年生の担任教諭は、大声で不審者とやり取りをしつつ、クラスの子供たちの安全を確保し、全員を4年生の教室へと避難させました。

異変を察知した4年生の担任教諭は、内線電話で職員室に3年生の教室に不審者が侵入してきたことを伝えました。連絡を受けた職員は、職員室にいた職員と情報を共有し、全校放送で「校内に侵入者が入ったので、すぐに避難を開始する」ことを本校児童と職員だけが理解できる合言葉を使って伝えました。教頭は、現場に駆けつけ、電話で現場の状況を署員に伝えながら指示を仰ぎました。

全校児童は、不審者を刺激しないように、担任等の指示のもと避難を開始しました。また、2名の教員は「さすまた」を携えて現場に向かい、不審者に対応する訓練を実施しました。警察署員からは、「さすまたを使い、不審者との適切な距離を保つことが大切である」というアドバイスをいただきました。

訓練の最後には、避難場所となった体育館で、全校児童に対し、警察署の署員から不審者から自分の命を守る大切さについてご指導いただきました。

学校教育において、子供たちの生命を守ることは最も大切なことです。あらゆる危険を想定し、それを回避する力を様々な訓練等を通して子供も職員も培っていきたいと強く思いました。



【不審者が侵入】



【教師の指示により避難開始】



【さすまたを使った対応】



【複数の職員で対応】



【全校児童への指導】



【職員への指導】